

1 めざす学校像

「学習」「マナー」「課外活動」の3つがバランスよく調和し、自由でのびのびした校風を礎に、自主自立の精神旺盛な豊かな人間性を育むことができる学校。

- ① 児童一人一人が自ら夢と希望を育み、それを実現するために必要な学力を獲得することのできる学校。
- ② 体力・運動能力の向上を図ることのできる学校。
- ③ 児童が互いに共感と信頼で結ばれ、安全・安心をもって学校生活を送ることのできる学校。

2 中間期目標

1. 教育内容の見直しと向上

- (1) 五感を使った学びと体験を盛り込んだ教科年間指導計画の実践により、知識を深掘しながら定着を図る。
 - ①教科横断型の学びにより、知識をさらに広く深い学びへとつなげることを目指す。
 - ②社会見学・宿泊行事を通して、本物を体験する。
- (2) 本校の特色ある教育として1年次から以下の科目を設定し、独自のカリキュラムによって学びを広げる。
 - ①理科
 - ②情報
 - ③英語（国際交流）
- (3) 4年次からは、各コースの特徴をいかし、希望の進路実現に向けた学習力を育む。
 - ①「発展コース」国際性と創造力を育むため、国英の時間数を増やし体験的な学習の充実を図る。
 - ②「進学コース」難関中学校を目指し、理数の時間数を増やすとともに速習により6年1学期で算数の授業を終え、受験勉強に集中する態勢の構築を図る。
- (4) ICT 機器の活用のさらに進め、学びを広げ深める。
 - ①全教科においてICT 機器やアプリを活用した授業展開を行う。
 - ②情報科でのプログラミング教育により、論理的思考力を養う。

2 人間力の育成

- (1) 少規模をいかした縦割り活動により、自身の成長を実感させる。
- (2) 教科学習・行事では、目標に向けてチャレンジ精神を持ち、自身の未来を切り開く力を養う。
- (3) 自然の中での体験活動を通じて、集団の中での個々の成長を促す。

3 規律とマナーのある信頼関係の育成

- (1) 「9つの約束」を通じて、自発的な行動を促し定着させる。
- (2) 伝統行事を通じて、自国の文化を学び、自然や人への感謝の心を育む。

3 本年度の取り組みおよび自己評価

今年度の重点目標	具体的な取り組み・内容	評価指標	学校評価
1. 学習指導の充実			
(1) 授業力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年に応じた学習方法の研究 ・理科教育の充実 ・新任授業研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・多彩な授業で、思考力を育てているか。 ・自然豊かな環境を利用して理数強化への興味関心を育てているか ・各教員による教材研究を共有し、自身の授業力アップへとつなげるようにしているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数による学年・コースに応じた授業内容の工夫により、児童一人一人が深く学び、考える機会を設定できた。 ・低学年より理科を専科教員が担当し、高学年への学びの動機づけとした。 ・授業研修後に、反省会を設定し、授業について情報交換を行った。 <p>【保護者アンケート】 授業が楽しくわかりやすい 前年度比 97%⇒93%</p>
(2) 学習指導計画に基づく基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導計画単元一覧表をもとに年間計画の作成 ・単元によっては、教科横断での学びを積極的に行う ・検定の実施 ・外部模試の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画の作成ができたか ・児童の状況に合わせた指導計画が作成できているか ・教科横断による学習活動がすすめられているか ・検定に向け対策指導ができているか ・外部模試により、基礎学力の定着を確認できたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・全教科年間指導計画の作成と共有を行った。 ・年間指導計画内に、本校の特色として教科横断の学びを明記した。 ・教科横断の活動は、保護者に発信し周知を図った。 ・外部模試・検定試験について、試験前の対策と、試験後の弱点フォローについて各教科で実施した。 <p>【保護者アンケート】 確かな学力をつけるよう教科指導が行われている 前年度比 91%⇒90%</p> <p>【保護者アンケート】 児童の状況に合わせた教育活動が行われている 前年度比 92%⇒94%</p>

<p>(3) ICT教育の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング教育が必修化され、週1回プログラミング専門教員による授業を開設 ・メタmojiの導入を行う。 ・Google クラスクームの試行 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に教職員の研修を実施したか。 ・授業での iPad 活用を進めることができたか。 ・Google クラスクームにより、教材や保護者へのお知らせなどを発信できたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・「すらら」⇒「メタ moji」への移行に合わせて、教員研修会を複数回実施した。 ・授業参観等で、iPad を活用した授業を行った。 <p>【保護者アンケート】</p> <p>教育活動に ICT 教育など新しい教育活動を取り入れるよう努めている。</p> <p>前年度比 96%⇒94%</p>
<p>2. 人間力の育成</p>			
<p>(1) 言語活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年で、国語の中心に書く伝える力を育成する。 ・日本語の特色や言語の豊かさを理解し、自分で考え、書く、伝えることを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の成果物として、作文や論文を作成できたか。 ・全教科で、言語活動の充実を意識した取り組みができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎学期の「希望」「思い出」作文を書き、学年代表者が朝会で発表をした。 ・全学年文集作文及び6年生は卒業論文を作成した。
<p>(2) 国際教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の4技能、基礎習得に加え、グローバル社会で活躍できる素地をつける。 ・毎日英語に触れる機会を設ける。 ・1～3年生の英語はレベル別2展開で行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・確かな学習の積みあげができたか。 ・ネイティブ教員と英語教員による2展開授業を行ったか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語レシーションコンテストを実施し、代表者が校外で発表できた。 ・1～3年生の英語はレベル別2展開で行った。 ・海外文化を学ぶ機会を持ち、活動内容をHPで発信した。 ・海外とZOOMIによる交流を行った。 <p>【保護者アンケート】</p> <p>国際交流等特色ある教育活動により成長を感じる</p> <p>前年度比 94%⇒93%</p>
<p>(3) 異学年交流の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校・清掃活動等を縦割りで行う。 ・宿泊行事等を異学年で実施する。 ・幼中高の園児生徒との交流機会を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上級生が手本となり、下級生のロールモデルとなっているか。 ・自主自立の活動につなげることができているか。 ・幼中高で関われる機会を設定できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の活動や行事を通じて、上級生が積極的に下級背に関わることができた。 ・課外活動ボランティア等、高校生が日常参加する機会が設定できた。

3. 規律とマナー ある信頼関係の育成			
(1) あいさつの大切さと定着	・あいさつすることの意味を伝える学級指導	・児童が自発的に挨拶を行っているか。	・登校時のあいさつ運動をはじめ、しっかりあいさつができています。
(2) 授業の規律とマナーの徹底	・あいさつ、立ち方、座る姿勢等、行儀についての指導を行う	・落ち着いて授業をうけることができているか。 ・日々の授業で確認ができているか。	・「9つの約束」を意識して教育活動を行っている 【保護者アンケート】 前年度比 84%⇒75%
(3) 登下校指導	・下学年を気遣い集団で安全に登校する。 ・教員による登下校指導を行う。	・安全に登下校することができているか。 ・マナーを守って集団での登下校ができているか。	・登下校時に桜井駅及び春日町四丁目で指導を引き続き行った。 ・高学年を先頭に2列で並んでの登校が定着している。 【保護者アンケート】 健康管理や安全管理に気を付け安心して学校生活を送れる環境となっている。 前年度比 93%⇒97%

【2022・2023(令和4・5)年度学校評価アンケート調査結果】

(1) 子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。

	そう思う	だいたい、そう思う	あまり思わない	思わない	無回答
2022	70%	27%	3%	0%	0%
2023	70%	23%	7%	0%	0%

(2) 子どもは、授業が楽しくわかりやすいといっている。

	そう思う	だいたい、そう思う	あまり思わない	思わない	無回答
2022	51%	44%	4%	1%	0%
2023	48%	45%	7%	0%	0%

(3) 子どもたちの声に耳を傾けながら学校運営や教育活動が行われている

	そう思う	だいたい、そう思う	あまり思わない	思わない	無回答
2022	49%	43%	7%	1%	0%
2023	48%	46%	4%	2%	0%

(4) 子どもたちの健康管理や安全管理に気を付け、安心して学校生活を送れる環境となっている

	そう思う	だいたい、そう思う	あまり思わない	思わない	無回答
2022	63%	34%	2%	1%	0%
2023	57%	36%	7%	0%	0%

(5) 異学年（縦割り）交流・国際交流など特色ある教育活動により成長を感じる

	そう思う	だいたい、そう思う	あまり思わない	思わない	無回答
2022	69%	24%	6%	1%	0%
2023	66%	32%	2%	0%	0%

(6) 学校は、行事や教育活動を通じて、教育方針をわかりやすく伝えている

	そう思う	だいたい、そう思う	あまり思わない	思わない	無回答
2022	59%	39%	1%	1%	0%
2023	53%	38%	2%	0%	0%

(7) 落ち着いた雰囲気の中で授業を行っている

	そう思う	だいたい、そう思う	あまり思わない	思わない	無回答
2022	43%	32%	22%	3%	0%
2023	53%	22%	18%	7%	0%

(8) 確かな学力をつけるよう教科指導が行われている

	そう思う	だいたい、そう思う	あまり思わない	思わない	無回答
2022	54%	37%	8%	1%	0%
2023	56%	34%	9%	1%	0%

(9) 教育活動にICT教育など、新しい教育活動を取り入れるように努めている

	そう思う	だいたい、そう思う	あまり思わない	思わない	無回答
2022	56%	40%	4%	0%	0%
2023	56%	38%	5%	1%	0%

(10) ホームページ・ブログ・学校だより・学級（学年）通信などで学校や子どもの様子を知ることができる

	そう思う	だいたい、そう思う	あまり思わない	思わない	無回答
2022	73%	26%	1%	0%	0%
2023	79%	20%	1%	0%	0%

(11) 学校は子どものまちがった行動を指導してくれる

	そう思う	だいたい、そう思う	あまり思わない	思わない	無回答
2022	48%	43%	7%	2%	0%
2023	48%	44%	8%	0%	0%

(12) 学校は事故防止に配慮するとともに児童の安全確保（不審者対応等）に取り組んでいる

	そう思う	だいたい、そう思う	あまり思わない	思わない	無回答
2022	49%	45%	5%	1%	0%
2023	49%	46%	3%	2%	0%

(13) 学校の施設・設備は学校環境面でほぼ満足できる

	そう思う	だいたい、そう思う	あまり思わない	思わない	無回答
2022	52%	39%	8%	1%	0%
2023	46%	37%	13%	4%	0%

(14) 学校給食について、おいしさ、メニューの豊富さ、栄養のバランスの良さなど期待しているとおりである

	そう思う	だいたい、そう思う	あまり思わない	思わない	無回答
2022	75%	24%	1%	0%	0%
2023	66%	29%	3%	2%	0%

(15) PTA活動には、参加しやすい

	そう思う	だいたい、そう思う	あまり思わない	思わない	無回答
2022	49%	41%	9%	1%	0%
2023	47%	41%	8%	4%	0%

4 学校自己評価のまとめ

年間を通じて「実践と体験をとおして、教養高い社会人を育てる学校」としてのブランド力向上を念頭に、五感を使った体験と学びを推進してきた。

(1) 教科指導

前年度に行った年間指導計画の点検をもとにし、教科年間指導計画（教科横断・英語教育のカリキュラムの強化）の実践に注力した。特に、教科横断の学びは、担任と専科、専科教員間での情報共有が欠かせず、今後も意識して共有・発信することとした。

また、英語教育については、低学年でのカリキュラムを外部専門家と連携しながら見直しを行い 4 技能の向上において成果が見られた。

(2) 授業研修の推進（進学コース指導強化）

年間を通じて、ICT を取り入れた授業研究として、外部講師を招聘し Meta Moji に関する研修を行った。その他の研修としては、3 名の新任研修として研究授業を行い、お互いの授業について情報交換をすることができた。

コース指導については、発展・進学で指導の進度や内容の情報交換を行い、両コース共に受験に向け学力向上を意識することができた。私学テストのデータ分析も全教員に共有をしている。

(3) ICT の推進

学習アプリ (Meta Moji) については外部講師の研修を通じて、授業での取り組みも積極的に行うことができた。2023 年度末に、児童・家庭・学校をつなぐ「まな BOX」のサービス終了を受け、2 学期より「Google クラブルーム」を試験的に導入し、2024 年度実施に向け準備を行った。

また、2023 年度末でタブレットの再リースとなるため、機器の回収と次年度準備については、ICT 担当者を中心に高等学校と連携を取りながらすすめた。

(4) 行事について

宿泊行事では、日程・目的を見直し、体験活動を重視するよう修正した。

また、遠足・社会見学では、公共交通機関を利用し、少人数ならではのフットワークの良さで、多くの体験に取り組むことができた。

(5) 放課後の課外活動

多彩な課外講座の中でも、進学発展演習（校内塾）と学童保育（わくわく HOME）は、ニーズが高く参加者も多いため、本校の特色ある取り組みとして継続をしていきたい。

特に、学童保育（わくわく HOME）では、今年度より中高生のボランティアを導入し、新たな学園内のつながりが確立された。小学生・中高生共に成長へのメリットが多く、今後も継続をしていく。

上記の教育活動を通じて、卒業生はそれぞれが希望する進路へ進むことができ、卒業式でのメッセージには 6 年を振り返っての思い出や感謝、これからの夢がこめられていた。

また、次年度入学者の募集については、前年度以上の出願者があり、2024 年度より新入生 2 クラス体制となったことは大きな前進である。今後も、次世代を担う「教養高い社会人」となるための土台作りを行っていきたいと考える。

5 学校関係者評価

これまでの教育活動・在校生の満足度が認められ、年々、評価が上がった結果。新入生 2 クラスという成果につながっていると考えられる。特に、少人数体制による児童と先生の密な関係や目が行き届きやすい環境であること、保護者との距離感やスムーズな対応が良く、幼稚園や中学校・高等学校との連携・交流など、公立校との差別化が図られているように見受けられた。

「人間力の育成」については、高評価であるが、授業・生活指導においては、より明確な目標を持ち、それぞれの個性を活かせる取り組みをさらに充実させていくことが望まれる。

今後の課題として、子どもたちが日常生活大半を過ごす場であり、広報にも影響する施設面について、順次必要な検討をお願いしたい。また引き続き、教育活動を通じての心の教育、マナーと規律を身に付け、学ぶ楽しさを身に付けることや、さらなる英語教育への取り組みの強化に期待したい。